

2019年度 第2四半期 連結決算説明資料

< 2019年11月14日 >

株式会社 西島製作所

証券コード : 6363

www.torishima.co.jp

前年同期比

● 受 注 高	— 237億円	▲84億円
● 売 上 高	— 176億円	▲15億円
● 営業利益	— ▲18億円	▲14億円
● 経常利益	— ▲19億円	▲21億円
● 親会社株主に帰属する 当期純利益	— ▲24億円	▲24億円

2019年度第2四半期 連結決算実績 及び通期計画の修正

第2四半期の業績について

受注：国内民需は12%増加したものの、官需は15%減、海外は43%減で、全体では26%減の237億円。

売上：国内民需は16%増加したものの、官需は13%減、海外は14%減で、全体では8%減の176億円。

利益：売上総利益以下及び通期計画の修正については、次頁以降で説明。

尚、当期純利益については、繰延税金資産の取崩し（▲3億円）が含まれています。

単位：億円	2018年度 第2四半期	2019年度 第2四半期	増減額	
			額	%
受注高	321	237	▲84	▲26.2%
売上高	191	176	▲15	▲7.9%
売上総利益 (売上総利益率)	46 (23.9%)	39 (22.2%)	▲7 (▲1.7pt)	▲15.2% —
販管費	49	57	+8	+16.3%
営業利益 (営業利益率)	▲4 (▲1.9%)	▲18 (▲10.2%)	▲14 (▲8.3pt)	—
営業外損益	4	▲1	▲5	—
経常損益	2	▲19	▲21	—
特別損益	▲0	▲2	▲2	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	0	▲24	▲24	—

2019年度 当初計画	修正計画	修正額
460	変更なし	
460	変更なし	
126 (27.4%)	116 (25.2%)	▲10 (▲2.2pt)
101	107	+6
25 (5.4%)	9 (0.2%)	▲16 (▲5.2pt)
—	—	
25	8	▲17
—	—	
18	1	▲17

期末レート (1USD)

2018/3末:106.24円
2018/9末:113.57円

2019/3末:110.99円
2019/9末:107.92円

主な減益要因（2019年5月発表通期計画比）

※○で囲んだ数字は、下期計上予定 単位：億円

	主な要因	売上総利益 減少額	営業利益 減少額	合計
1.	契約先の破綻 （工事損失引当金/貸倒引当金の繰入）	2	5	7
2.	UAE サービス子会社(TSS) の減収減益	2 + ②		4
3.	無償コストの増加	2		2
4.	風力発電収益の減少	2		2
上期計上済		8	5	13
下期計上予定		2	0	2
合計		10	5	15

1. 契約先の破綻 （工事損失引当金/貸倒引当金の繰入）

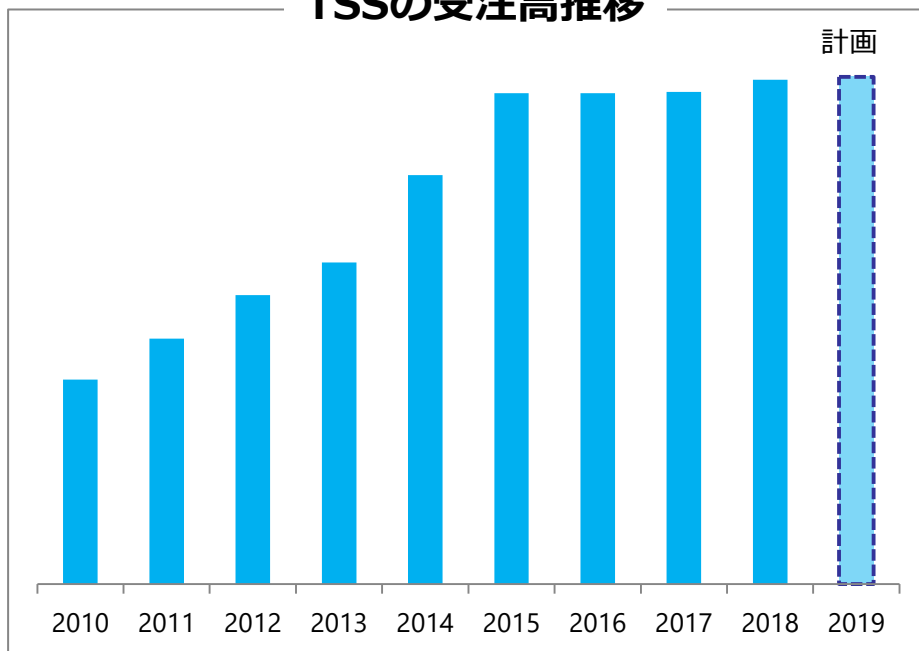
案件	送水ポンプ場の建設
契約範囲	機械設備、電気設備の設計、調達、据付工事及び試運転
契約工期	2017年10月25日～2018年11月30日＋保証期間12ヶ月
施工場所	サウジアラビア王国
契約先	ローカルコントラクター

上記案件の契約履行中に契約先のコントラクターが、サウジ法務省及びDammam商業裁判所へ民事再生を申し立て（2019年9月19日）。これを受け、上期に5億円の貸倒引当金及び、2億円の工事損失引当金を計上。

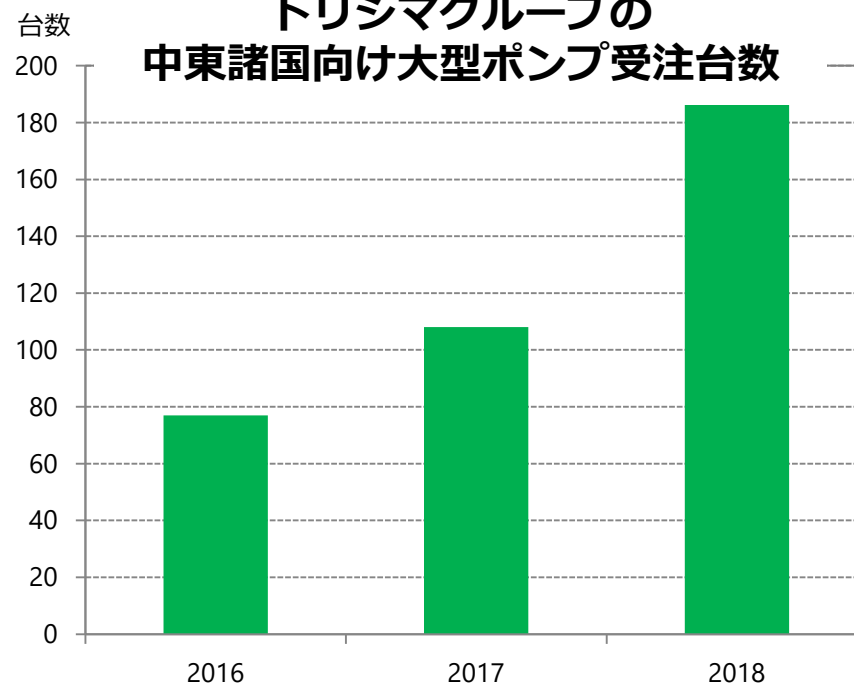
2. UAE サービス子会社（TSS）の減収減益

2010年の設立以来、順調な成長を遂げてきたTSSだが、今期は納期が短い部品受注が低迷していることから、売上の減少が見込まれる。また、他社製ポンプのサービス需要取込みを強化しているため、利益率は低下傾向。しかし近年、サウジアラビアをはじめ中東諸国向けの海水淡水化プラントや送水プラントへ大型ポンプを続々と受注しており、短期間での業績の回復を見込む。

TSSの受注高推移



トリシマグループの
中東諸国向け大型ポンプ受注台数



3. 無償コストの増加

>新規開発ポンプの一部に初期不良があり、追加原価が発生。

4. 風力発電収益の減少

>当社所有の発電所において、変電設備に落雷及び漏電があり、
風力発電機が3ヶ月間操業停止したことにより減収及び修理費を計上。
（10月中旬に復旧済）

2019年度第2四半期 連結決算実績 及び通期計画の修正

第2四半期の業績について

受注：国内民需は12%増加したものの、官需は15%減、海外は43%減で、全体では26%減の237億円。

売上：国内民需は16%増加したものの、官需は13%減、海外は14%減で、全体では8%減の176億円。

利益：売上総利益以下及び通期計画の修正については、次頁以降で説明。

尚、当期純利益については、繰延税金資産の取崩し（▲3億円）が含まれています。

単位：億円	2018年度 第2四半期	2019年度 第2四半期	増減額	
			額	%
受注高	321	237	▲84	▲26.2%
売上高	191	176	▲15	▲7.9%
売上総利益 (売上総利益率)	46 (23.9%)	39 (22.2%)	▲7 (▲1.7pt)	▲15.2% —
販管費	49	57	+8	+16.3%
営業利益 (営業利益率)	▲4 (▲1.9%)	▲18 (▲10.2%)	▲14 (▲8.3pt)	—
営業外損益	4	▲1	▲5	—
経常損益	2	▲19	▲21	—
特別損益	▲0	▲2	▲2	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	0	▲24	▲24	—

2019年度 当初計画	修正計画	修正額
460	変更なし	
460	変更なし	
126 (27.4%)	116 (25.2%)	▲10 (▲2.2pt)
101	107	+6
25 (5.4%)	9 (0.2%)	▲16 (▲5.2pt)
—	—	
25	8	▲17
—	—	
18	1	▲17

期末レート (1USD)

2018/3末:106.24円
2018/9末:113.57円

2019/3末:110.99円
2019/9末:107.92円

2019年度第2四半期 連結決算実績 (単体・子会社別)

■ 単体

単位：億円

	2018年度 第2四半期	2019年度 第2四半期	増減	
			額	%
売上高	146	137	▲9	▲6.2%
売上総利益 (売上総利益率)	24 (16.6%)	21 (15.3%)	▲3 (▲0.5pt)	▲12.5% —
販管費	33	40	+7	+21.2%
営業利益 (営業利益率)	▲9 (▲6.0%)	▲19 (▲13.9%)	▲10 (▲7.9pt)	—

■ 子会社 (連結－単体)

単位：億円

	2018年度 第2四半期	2019年度 第2四半期	増減	
			額	%
	45	39	▲6	▲13.3%
	22 (48.9%)	18 (46.2%)	▲4 (▲2.7pt)	▲18.2% —
	16	17	+1	+6.3%
	5 (11.1%)	1 (2.6%)	▲4 (▲8.5pt)	▲80.0%

2019年度通期計画の修正（単体・子会社別）

■ 単体

単位：億円

	当初計画	修正計画	差額
売上高	370	370	±0
売上総利益 (売上総利益率)	80 (21.6%)	75 (20.3%)	▲5 (▲1.3pt)
販管費	68	74	+6
営業利益 (営業利益率)	12 (3.2%)	1 (0.3%)	▲11 (▲2.9pt)

■ 子会社（連結－単体）

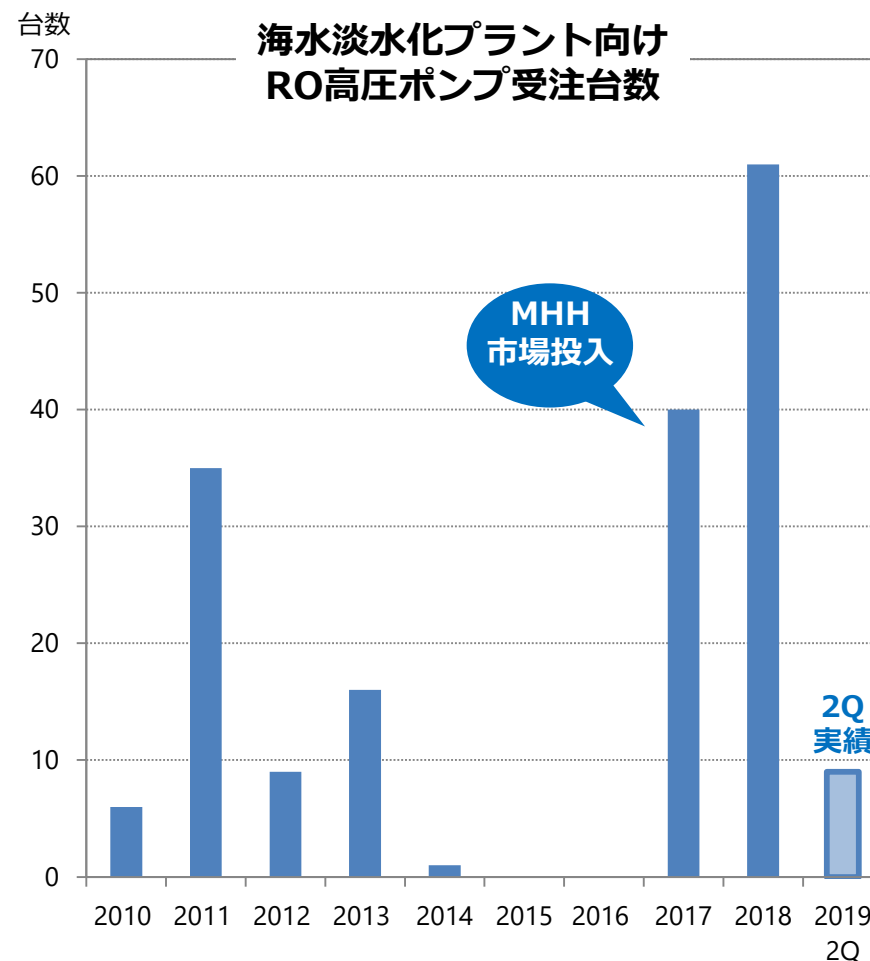
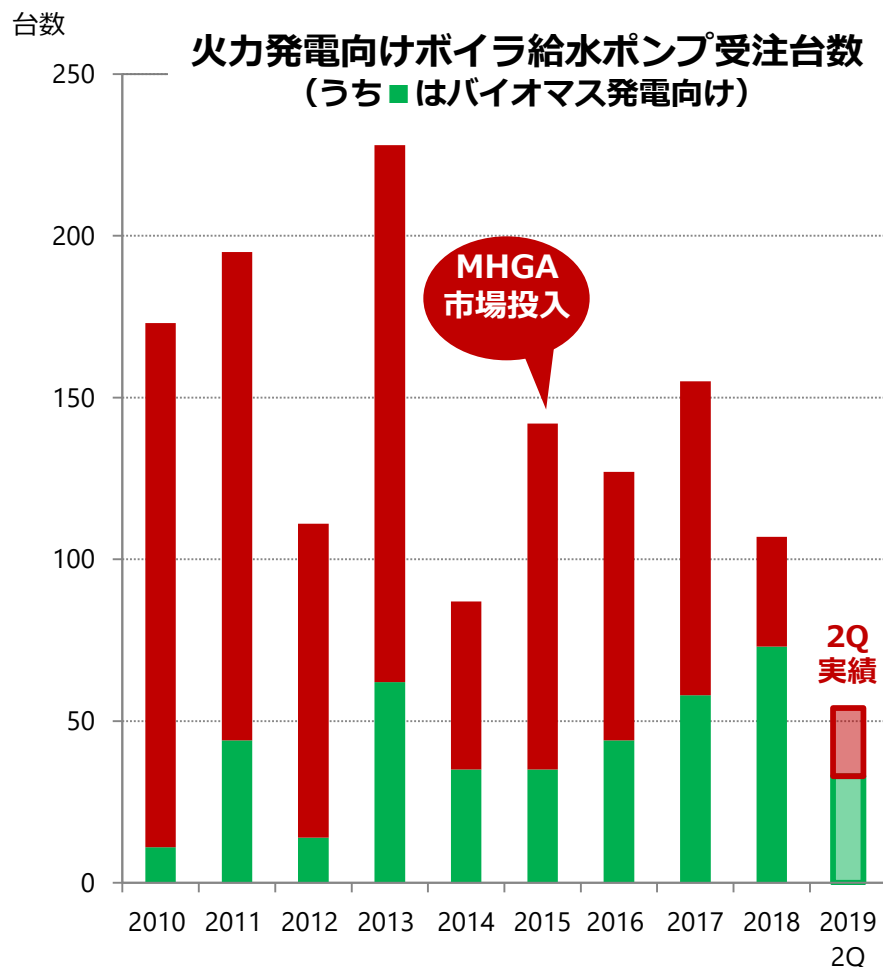
単位：億円

	当初計画	修正計画	差額
	90	90	±0
	46 (51.1%)	41 (45.6%)	▲5 (▲5.5pt)
	33	33	±0
	13 (14.4%)	8 (8.9%)	▲5 (▲8.5t)

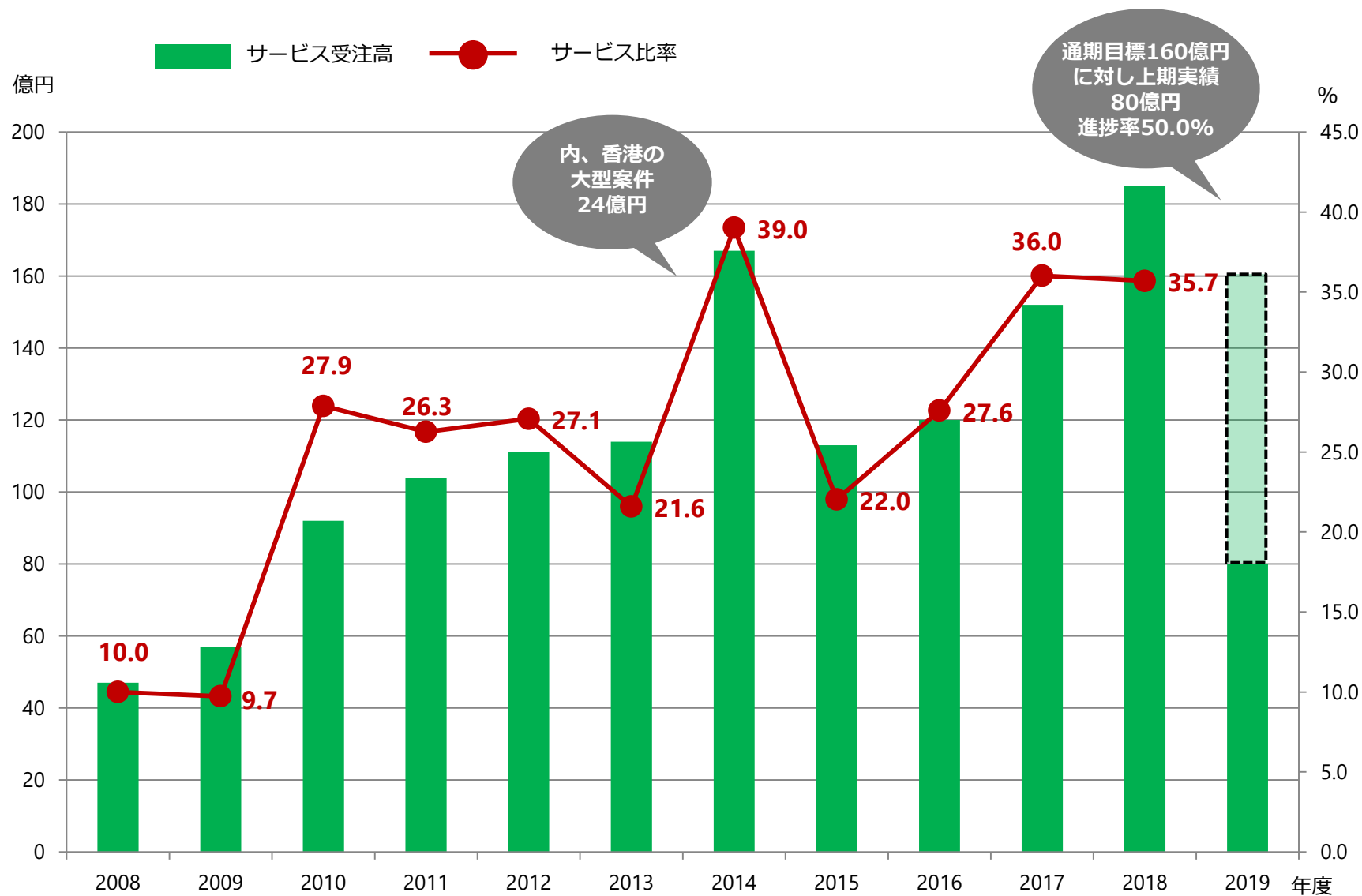
トピックス

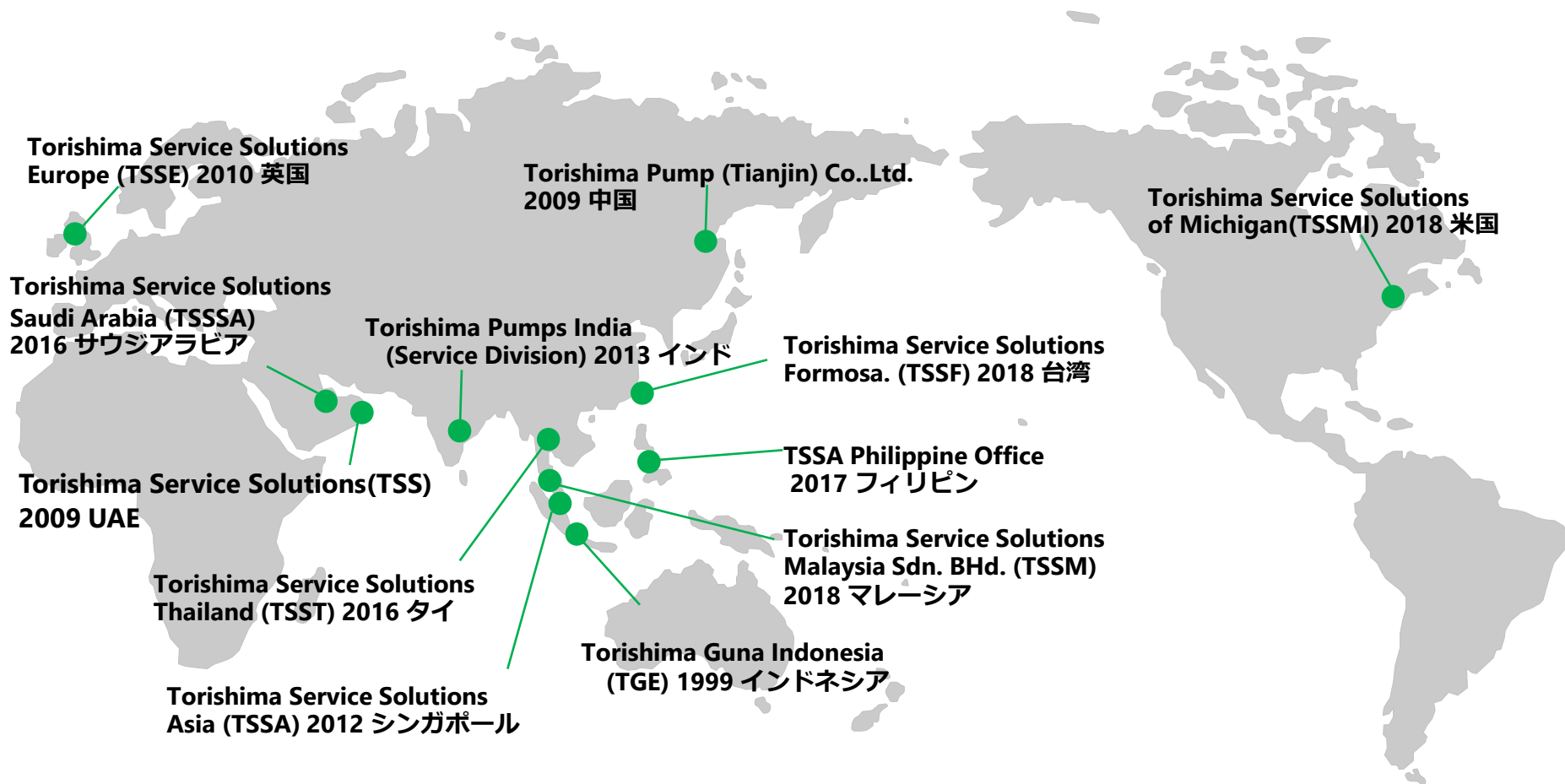
火力発電用ポンプと海水淡水用ポンプ

火力発電市場への逆風を受け、今後の受注の伸び悩みが予測されるなかでも、改良型ボイラ給水ポンプ（MHGA）やバイオマス発電向けボイラ給水ポンプは、安定的に受注を重ね、海水淡水化市場へも改良型RO高圧ポンプの投入で受注増。



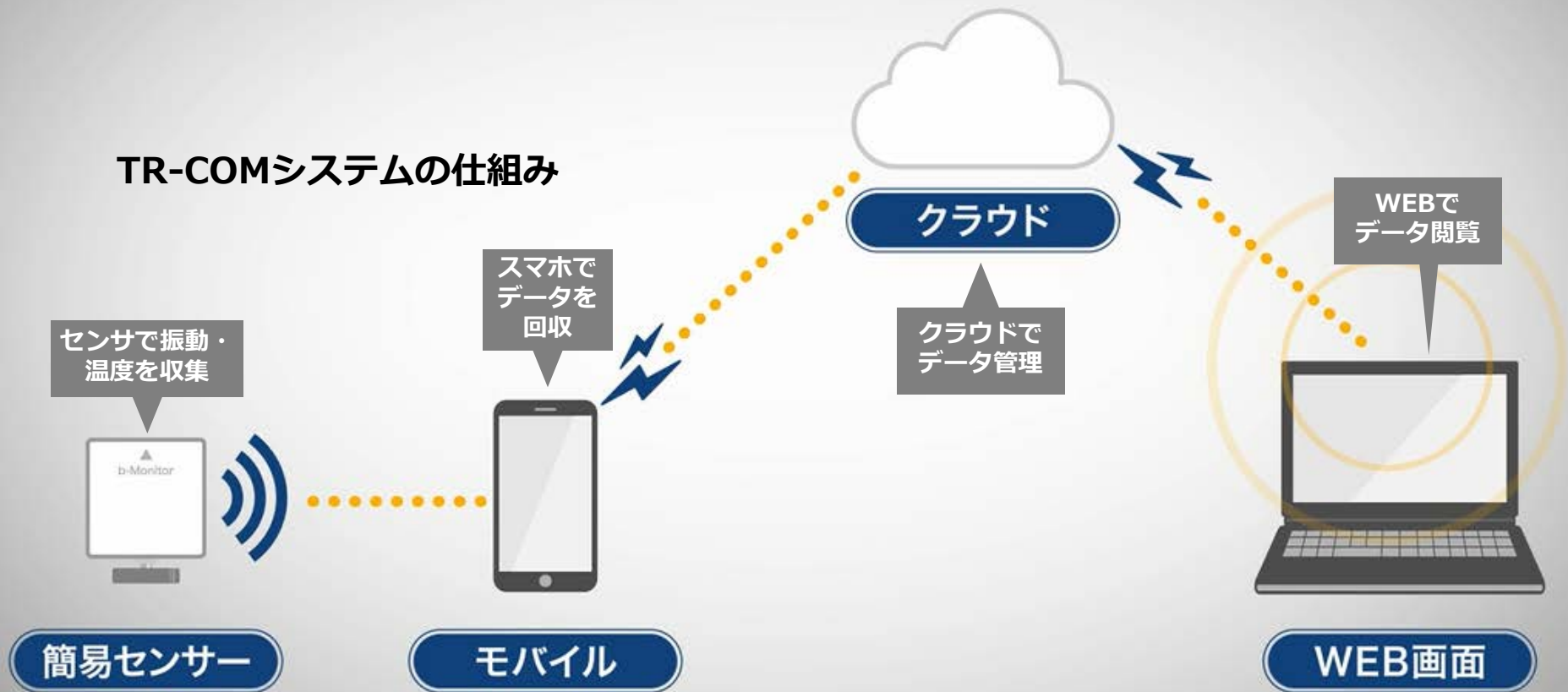
サービス事業の拡大





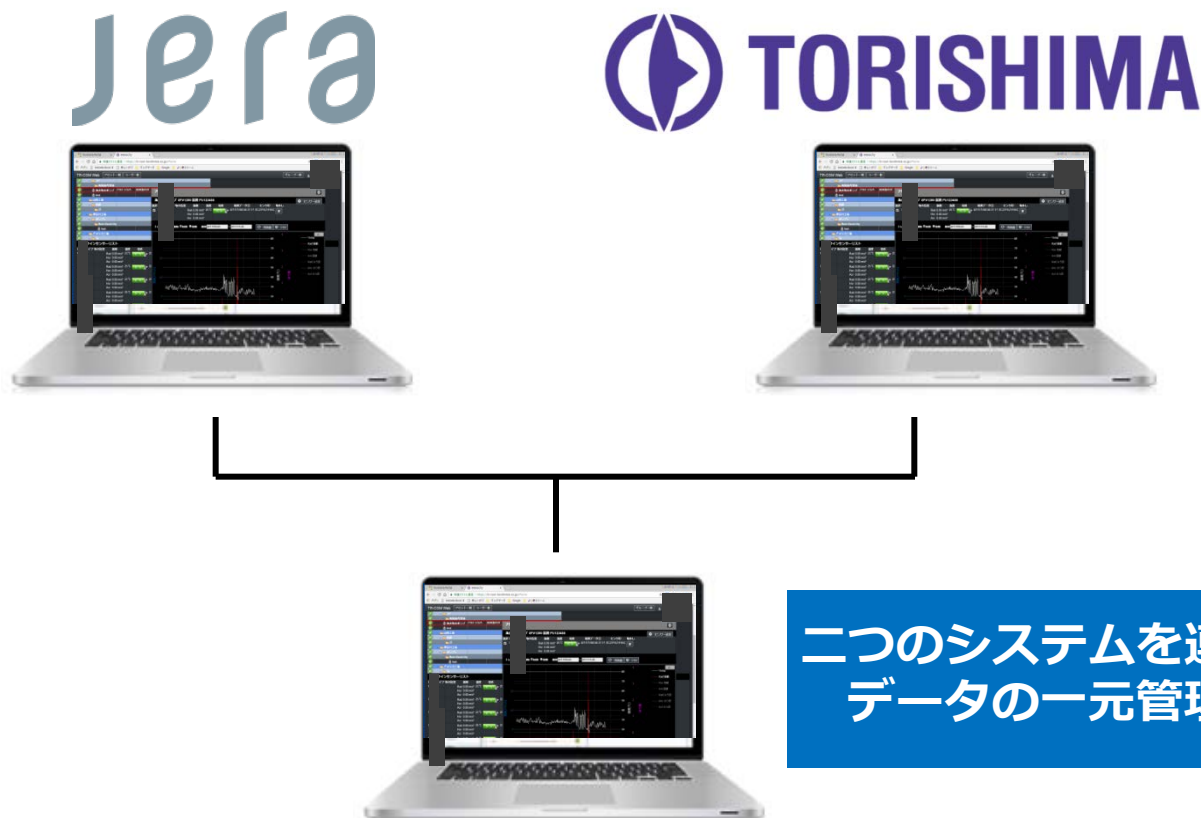
IoTを活用してポンプやモータ、ファン、コンプレッサなど、回転器機の運転状態を簡単にモニタリング。機械の管理を簡素化・効率化し、トレンド管理や故障の早期発見につなげます。

TR-COMシステムの仕組み



株式会社JERA様から数か所の発電所向けセンサーを大口受注。

加えて当社のTR-COMデータをJERA様のプラットフォームに連携。



二つのシステムを連携させて
データの一元管理が可能

計測器販売（モノ）ではなく、問題解決のサービス（コト）を売る

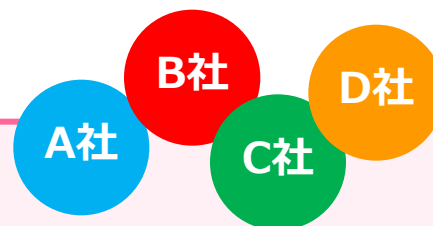


「異常です。
修理しておきます！」

そのほかにも

- ✓ 振動の相談ができる
- ✓ 実際の修理作業ができる
- ✓ 精密診断サービスができる

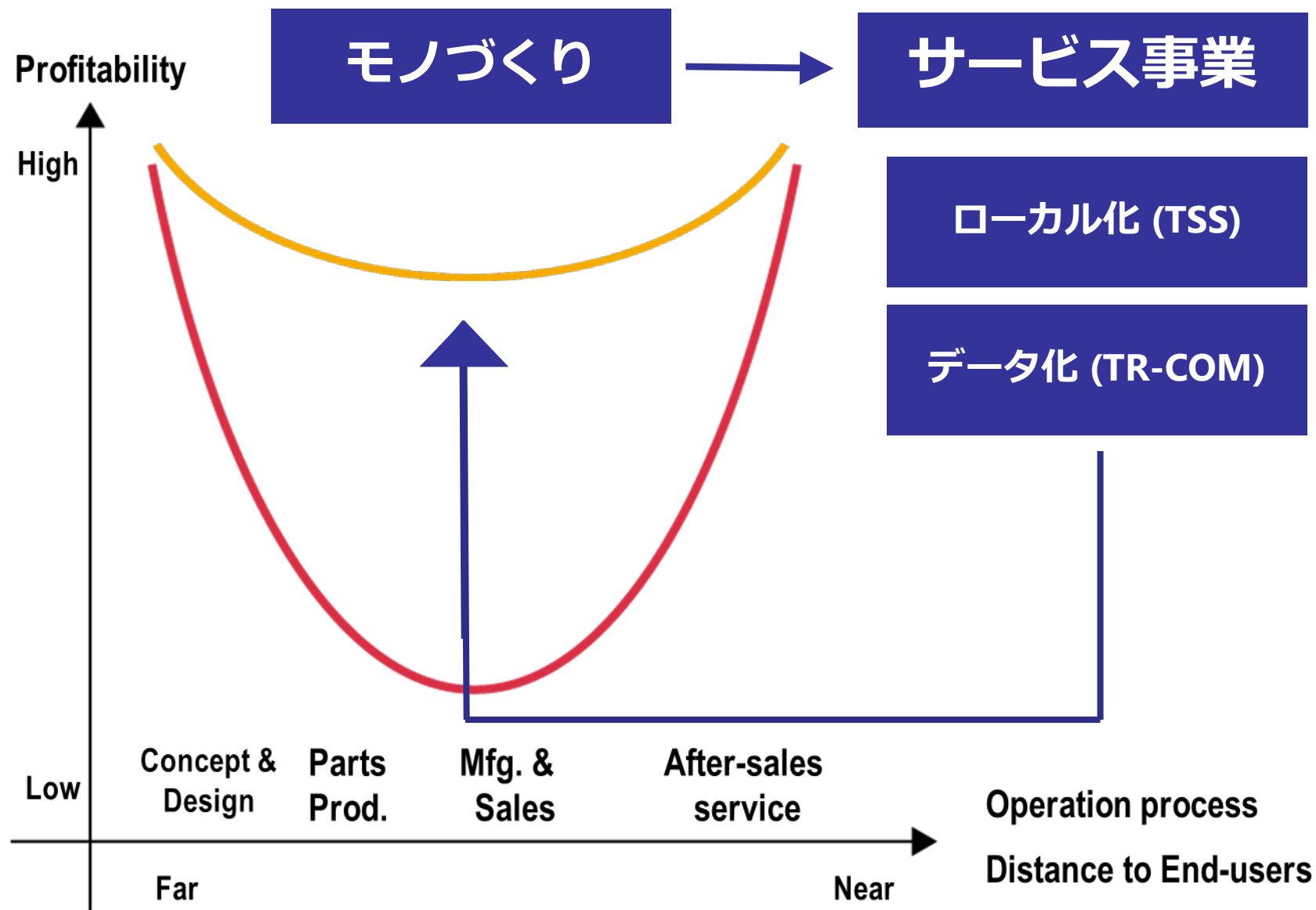
回転機器の専門家なので、
頼りになる！



「異常です。メーカーに
連絡してください！」

自動的に異常は発見できても、
その原因や分析、
修理はできない・・・

センサのことなら分かるが、
回転機器のことは分からない



機動的な資本政策の遂行と株主還元の一環として、
2019年9月30日自己株式を消却しました。

消却した株式の数：376,900株

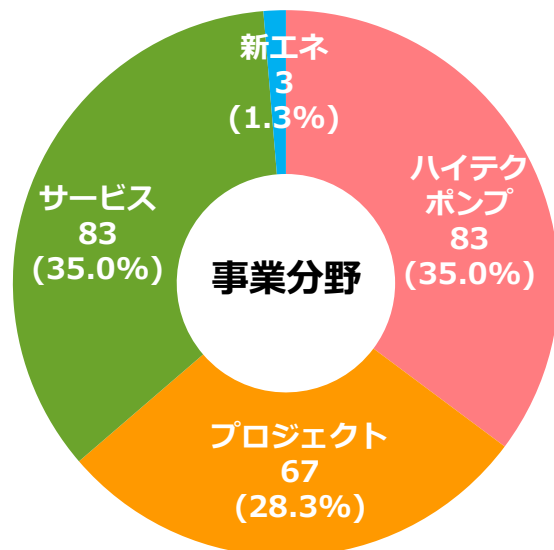
(消却前の発行済株式総数（自己株式除く）に対する割合：1.38%）

- ・ 消却後の発行済株式総数（自己株式を除く）
＞ 27,020,377株
- ・ 消却後の自己株式数
＞ 2,491,802株

補足資料

事業分野及び需要先

(2019年度2Q受注高実績 (億円) 括弧内は構成比)



ハイクテクポンプ

発電所や海水淡水化プラント、上下水道施設、かんがい施設など向けの大型ポンプ（エンジニアリングポンプ）及び一般産業向けのエコポンプ（小型標準ポンプ）。

プロジェクト

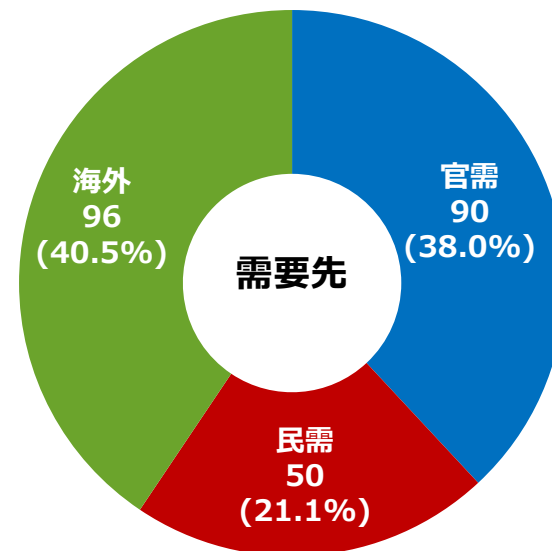
上下水道、かんがい、排水ポンプ場におけるポンプ設備全体のEPC（設計・調達・建設）案件。

サービス

既存ポンプ及びポンプ設備の取替え、保守点検、REDU®*、SV（スーパーバイザー）の派遣、部品交換など。

新エネルギー・環境

風力発電や小水力発電の導入における設計・施工・メンテナンス。
環境装置（農業集落排水向け真空式下水道収集システム）



官公需

日本国内の国及び地方公共団体向け。上下水道施設、排水施設及びかんがい施設など。

民需

日本国内の民間企業向け。火力発電所（事業用、バイオマス発電やごみ焼却発電、自家発電含む）、一般産業の各種工場、ビル設備、商業施設など。

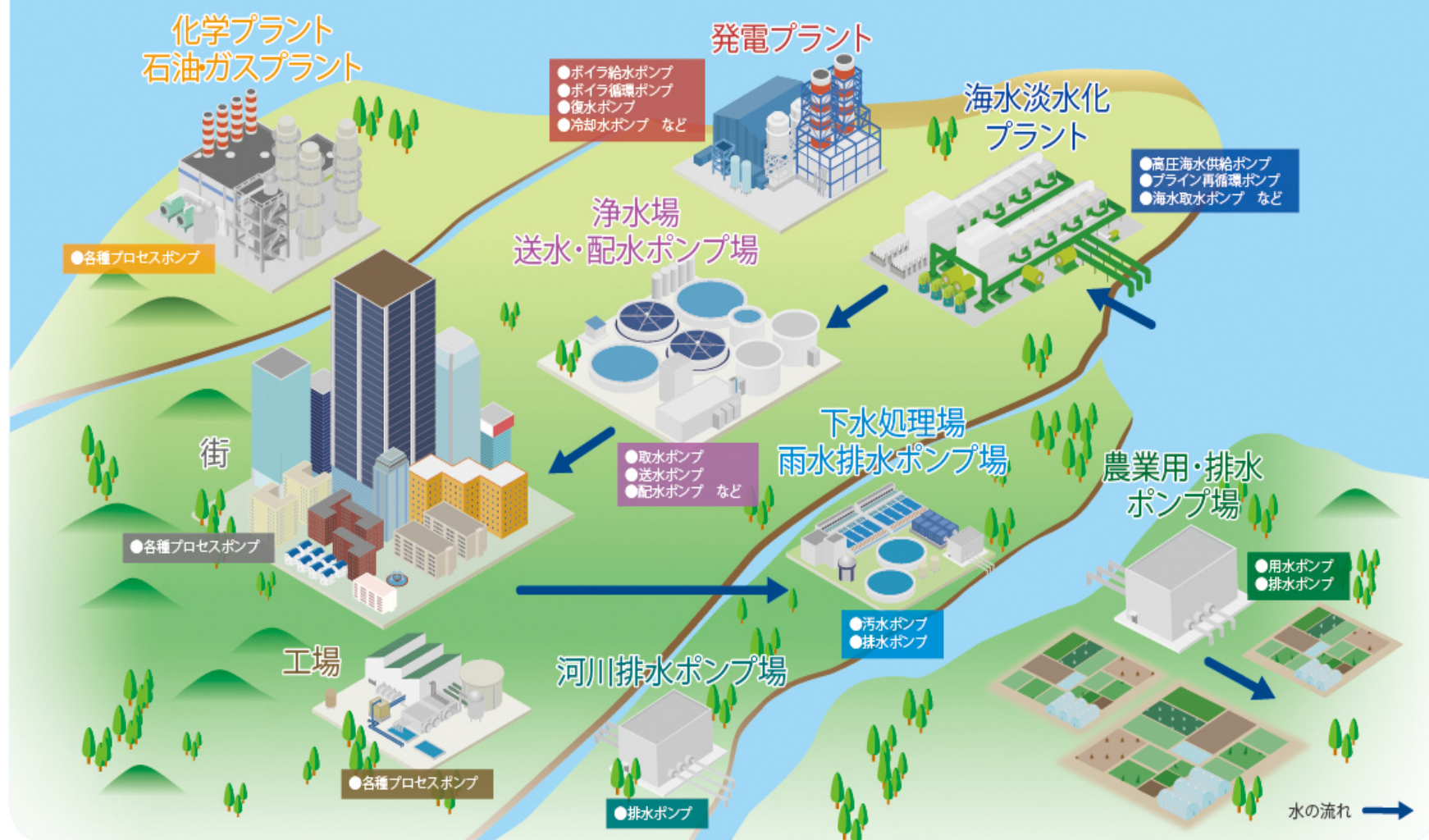
海外

海外向け海水淡水化プラント、火力発電所、上下水道施設かんがい施設など。

* Re Engineering & Design Upの略で、当社独自のサービス。

お客様の製品を預かり、老朽化、磨耗している部品の復元や改善、交換など、最新の技術を用いてアップグレードさせてお返しのサービスメニューです。

トリシマポンプは様々な暮らしのライフラインを支えています。

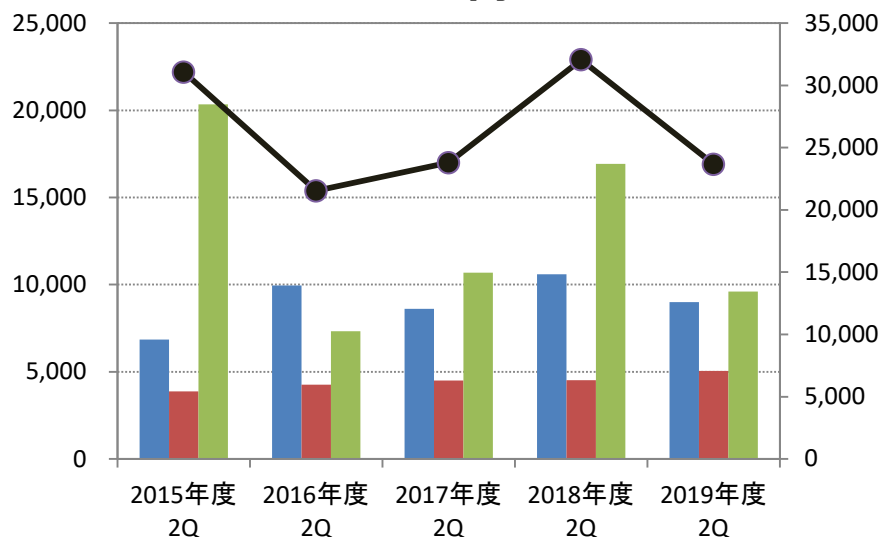


百万円

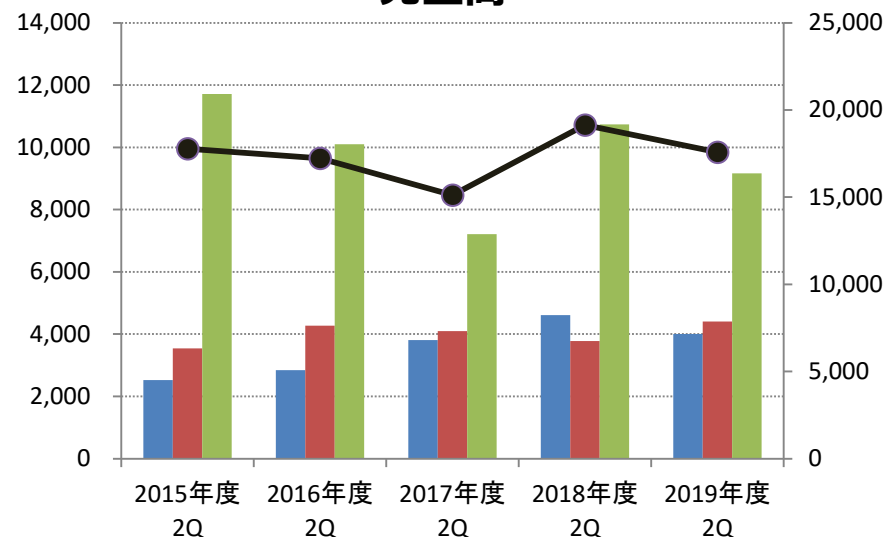
	2018年度 第2四半期			2019年度 第2四半期		
	受注	売上	受注残	受注	売上	受注残
官 需	10,603	4,614	18,071	9,007	4,004	17,588
前年増減率	23.2%	21.3%	▲7.8%	▲15.1%	▲13.2%	▲2.7%
民 需	4,513	3,783	6,460	5,051	4,401	7,098
前年増減率	0.4%	▲7.7%	14.3%	11.9%	16.3%	9.9%
海 外	16,933	10,735	33,713	9,605	9,166	30,347
前年増減率	58.4%	48.9%	5.6%	▲43.3%	▲14.6%	▲10.0%
合 計	32,050	19,133	58,245	23,664	17,572	55,034
前年増減率	34.7%	26.6%	1.9%	▲26.2%	▲8.2%	▲5.5%

第2四半期 受注高・売上高・受注残高の推移 (需要先別)

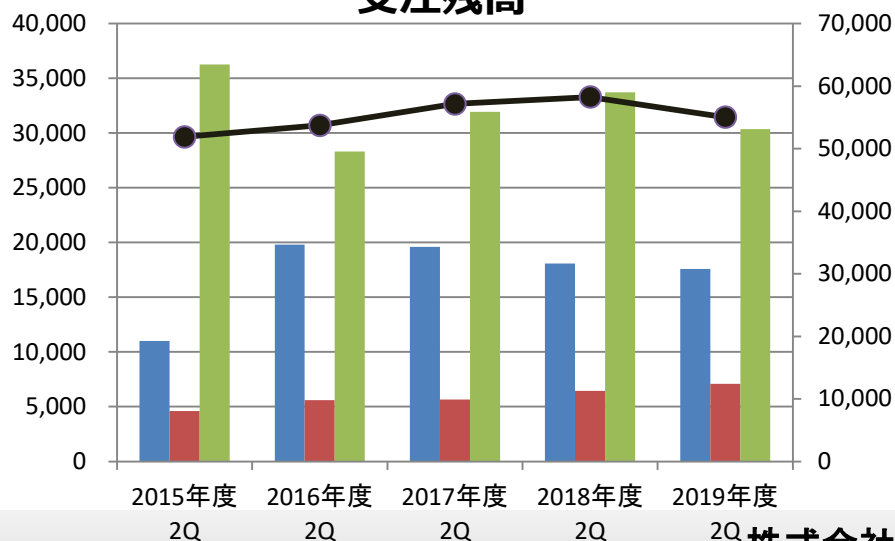
受注高



売上高



受注残高



左軸

官需 民需 海外

右軸

合計額

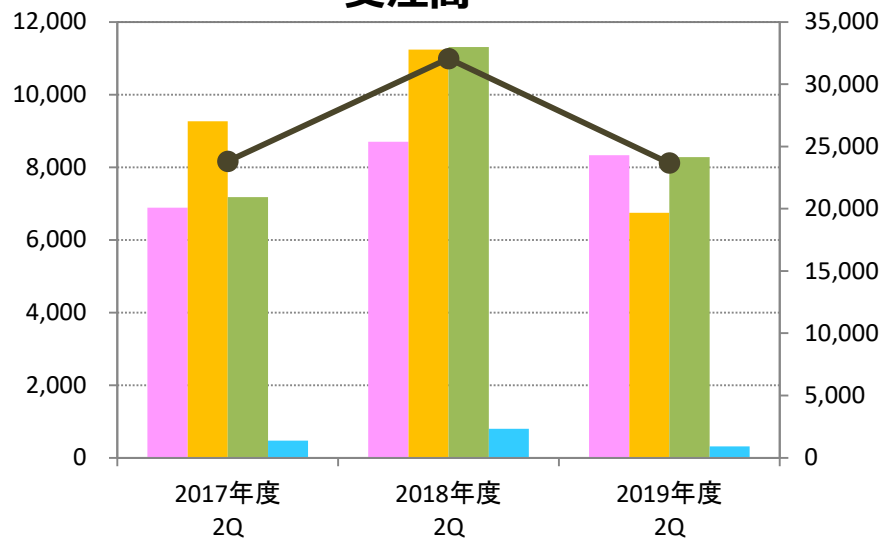
単位：百万円

百万円

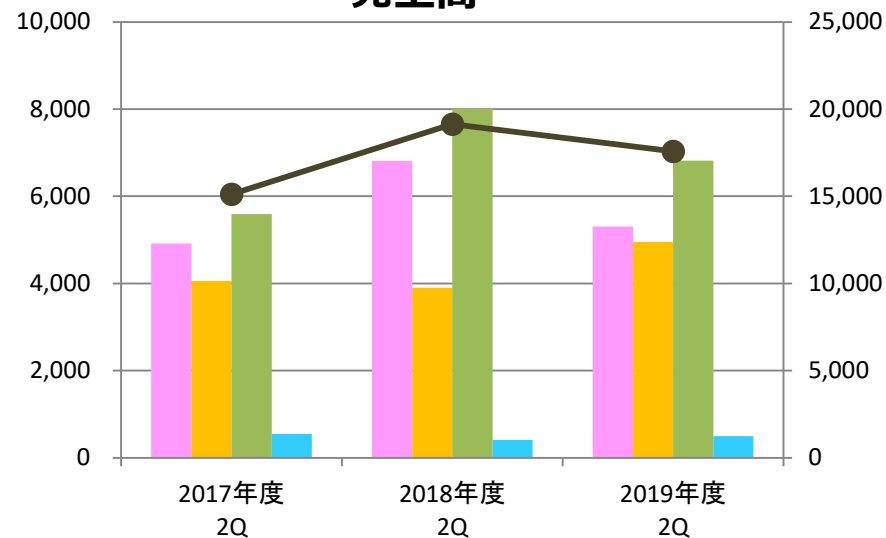
		2018年度 第2四半期			2019年度 第2四半期		
		受注	売上	受注残	受注	売上	受注残
ハイテクポンプ		8,704	6,812	17,725	8,331	5,304	21,095
	前年増減率	26.4%	38.5%	9.6%	▲4.3%	▲22.1%	19.0%
プロジェクト		11,240	3,902	30,334	6,741	4,950	24,583
	前年増減率	21.31%	▲3.7%	▲8.5%	▲40.0%	26.9%	▲19.0%
サービス		11,306	8,014	9,700	8,281	6,819	9,201
	前年増減率	57.6%	43.3%	26.6%	▲26.8%	▲14.9%	▲5.1%
新工ネ・環境		800	406	486	312	499	156
合 計		32,050	19,133	58,245	23,665	17,572	55,035
	前年増減率	34.7%	26.6%	1.9%	▲26.2%	▲8.2%	▲5.5%

第2四半期 受注高・売上高・受注残高の推移 (事業領域別)

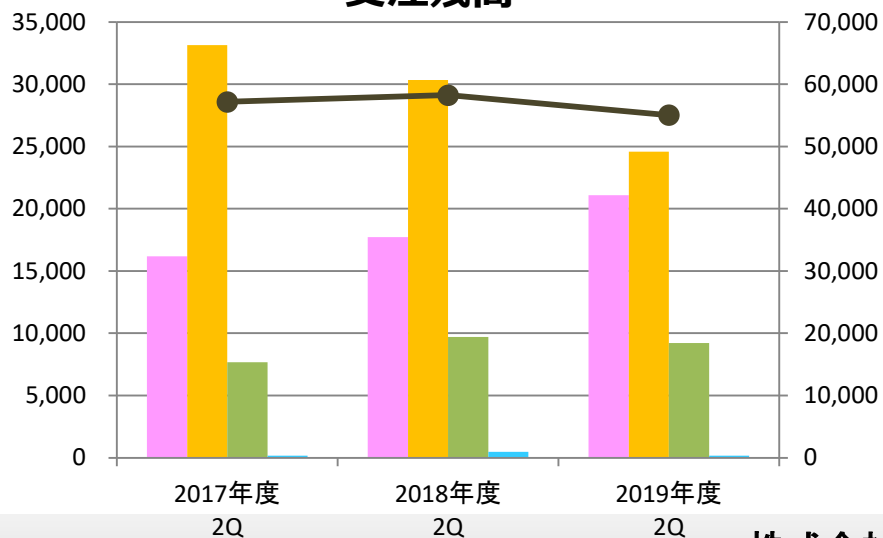
受注高



売上高



受注残高



左軸

ハイクポンプ

プロジェクト

サービス

新エネ

右軸

● 合計額

単位：百万円

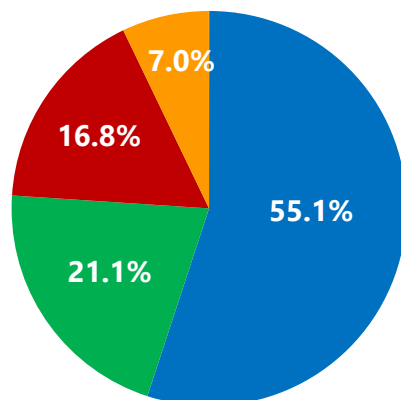
地域別受注高

億円

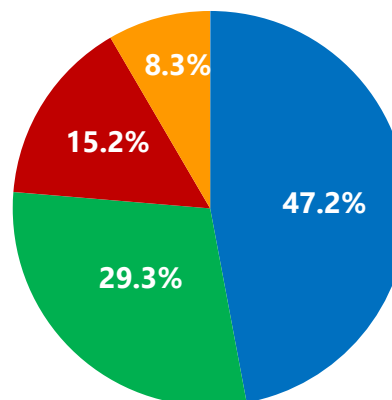
	日本	海外全体	海外内訳			合計
			アジア	中東	その他	
2017年度 第2四半期	131 (55.1%)	107 (44.9%)	50 (21.1%)	40 (16.8%)	17 (7.0%)	238
2018年度 第2四半期	151 (47.2%)	169 (52.8%)	94 (29.3%)	49 (15.2 %)	27 (8.3%)	321
2019年度 第2四半期	141 (59.5%)	96 (40.5%)	26 (10.8%)	39 (16.4%)	31 (13.3%)	237

■ 日本 ■ アジア ■ 中東 ■ その他

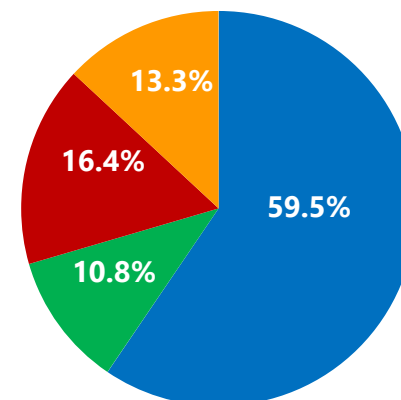
2017年度2Q



2018年度2Q



2019年度2Q



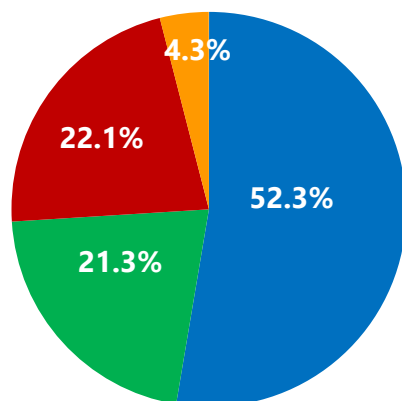
地域別売上高

億円

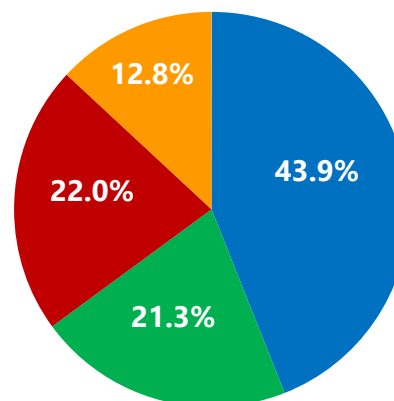
	日本	海外全体	海外内訳			合計
			アジア	中東	その他	
2017年度 第2四半期	79 (52.3%)	72 (47.7%)	32 (21.3%)	33 (22.1%)	6 (4.3%)	151
2018年度 第2四半期	84 (43.9%)	107 (56.1%)	41 (21.3%)	42 (22.0%)	24 (12.8%)	191
2019年度 第2四半期	84 (47.8%)	92 (52.2%)	44 (24.8%)	34 (19.6%)	14 (7.8%)	176

■ 日本 ■ アジア ■ 中東 ■ その他

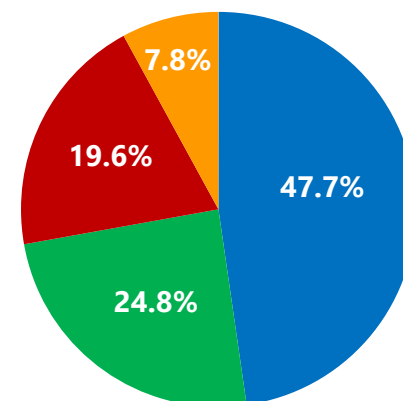
2017年度2Q



2018年度2Q



2019年度2Q



本資料の業績などに関する将来の予想、見通しなどは現時点で入手可能な情報に基づき算出したものです。

したがって、実際の業績は今後の様々な要因によって、異なる結果となる可能性があることをご了承ください。

【お問い合わせ先】

株式会社 西島製作所 総務部 I R広報グループ

Tel : 072-695-0551

Email : torishima-ir@torishima.co.jp